

## 2026 年度 公立大学法人大阪 第3回役員会議事要旨

日 時：2026年6月24日（水）9時30分～11時05分

場 所：UR森之宮ビル3階 役員会議室

構成員：福島理事長、櫻木副理事長、松井理事、丸尾理事、高橋理事、徳永理事、重松理事、

中村理事、宮部理事、帯野理事、藤本理事、藤沢理事(オンライン)

監 事：白井監事、前田監事（欠席）

陪席者：露口本部事務機構長、石井本部事務機構次長、大久保本部事務機構次長、富宅阿倍野キャンパス事務局長、石田総務総括部長、柴山企画総括部長、片山総務部長、遠藤人事戦略部長、吉岡財務部長、皆藤企画部長、肥田大学戦略室長、寺田阿倍野キャンパス事務局事務部長、中井産学官民共創推進室長、酒井経営統括アドバイザー

### 【審議事項】

#### 1 2025年度決算・財務諸表について

丸尾理事より、2025年度決算・財務諸表について説明があり、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

特になし。

#### 2 工学研究科の改組について（案）

高橋理事および綿野工学研究科長より、工学研究科の改組（案）について説明があり、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

- ・ バイオ工学やAI、航空宇宙等に関する分野について、人類を脅かす技術開発に繋がるリスクも否定できないが、その中で研究を進めるにおいて、倫理的な考えを持った教員はどのように配置されるのか。
- 社会的リスクの防止等を研究する教員を中心に、特定の分野にとどまらない全学的な倫理教育の取り組みを推進している。また、学部3年次での「工学倫理」の必修化や大学院での共通教育科目における教育を実施するとともに、「工学倫理委員会」を設置し、審議・執行を徹底している。
- ・ 今回の改組は、大阪府民・市民にどのようなメリットをもたらすのか。
- 大学のブランド価値を高めて優秀な人材を輩出することで大阪府・市の発展に成長と発展に寄与するとともに、「都市シンクタンク」として、市民のウェルビーイングの実現に貢献することを目指す。
- ・ 産業界や受験生から見て、現状の分野名だけでは連携先や求める人材が、分かりにくいのではないか。
- 分野名については、伝わりにくい部分もあるため、教育・研究内容が分かるよう、丁寧に広報を進める。また、AI・情報分野については、2029年度に新設予定の情報学部が大学全体のAI教育・情報リテラシー教育を担うとともに、1年次に全学生が森之宮キャンパスで学ぶことを生かし、全学的な教育を推進していく。

## 【報告事項】

### 1 2025年度監事監査結果について

白井監事より、2025年度監事監査結果について説明がなされた。

#### <主な意見等>

- ・役員会に付議する審議事項については、認識に齟齬がないか確認いただきたい。

### 2 第2期中期計画 2025年度の進捗状況について

高橋理事より、第2期中期計画 2025年度の進捗状況について説明がなされた。

#### <主な意見等>

- ・2025年に寄附金獲得額が目標の半分（約5億円）に達しているが、さらなる上積みは可能か。
- 昨年度は大阪人権博物館から約2億円の大型寄附があったものの、特殊要因によるものであり、毎年の寄附を見込める状況ではないことから、今年度は、教育・研究を目的とした寄附金の獲得に向けて取組を強化したい。
- ・寄附金獲得のための具体的なプロジェクトはあるのか。
- 卒業生によるネットワークの強化や、企業・個人への寄附依頼のための訪問など、持続的な寄附獲得に向けた取組について検討を進めている。

### 3 2026年度入試一般選抜（学部・学域）の志願動向について

高橋理事より、2026年度入試一般選抜（学部・学域）の志願動向について説明がなされた。

#### <主な意見等>

- ・志願者数だけでなく、実際の入試結果（倍率、最高得点、最低得点等）の詳細な分析を行い、役員会へ報告すべきではないか。
- 今回の報告時期から志願動向を中心とした内容だが、確定した数値については、別途、役員会へ報告する予定である。

## 【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上